

3月9日発行

平成28年度

南中だより

第27号

伊丹市立南中学校

明日、南中を巣立っていきます！

いよいよ明日、3年生がこの学舎を巣立ちます。この南中で過ごした3年間のさまざまな思い出と、大いなるそれぞれの夢を抱いて。

この3年間、仲間とともに日々の学習や生徒会活動・部活動等に取り組み、行事のたびに一生懸命頑張ることで、大きく成長する姿を目の当たりにすることができました。

卒業を前にして3年間を振り返ったとき、仲間と作り上げた宝物の多さに驚きます。これからは、いろいろな人との出会いを通して、南中学校で得た宝物に新たな宝物を加えて下さい。その宝物がこれからの人生の希望となり、時には勇気や我慢の気持ちを持たせることになるでしょう。

卒業生の皆さん、次のステージでのより一層の活躍を祈っています。

またいつか南中学校を訪れ、いろいろなステージで磨き鍛えた姿を後輩に見せてくれるのを楽しみにしています。

メッセージ交換会を開催！

3月6日（月）6校時に、本校体育館で「メッセージ交換会」が行われました。まもなくこの南中をあとにする3年生の先輩たちに、兄弟学級として体育大会や文化祭をとともに取り組んできた1年生や2年生の後輩たちから、各兄弟学級グループごとに合唱と感謝のメッセージが贈られました。それぞれのグループのメッセージは、同じ目標を持って同じ夢を追いかけた兄弟学級ならではのものでした。メッセージを聞きながら、応援練習や合唱練習の場面、応援合戦や合唱コンクールの本番、成績発表の場面などが思い浮かんできました。

その後、3年生の兄弟学級グループの各応援団長から、「南中の伝統を引き継いでほしいとか自分達を超えてほしい」など後輩に託したメッセージが、1年生と2年生に伝えられました。

最後に、3年生が全員合唱でレミオロメンの「3月9日」を披露し、1年生・2年生に贈りました。3年生にとっても、1・2年生にとっても感動的な時間となりました。

「3年間を振り返って」

卒業を迎えるに当たって、3年生の作文を紹介します。

「3年間を振り返って」 3年1組 K・M

入学したときは、卒業するのなんてずっと先だと思っていました。しかし、いざ卒業となると、3年間の出来事が次々と思いついては消えて、まるで1年も経っていないような気がします。

でも、あっという間に感じた3年間の中で得たものは、数えきれません。例えば、入学した頃の私は、もっと人見知りで、やる前から何でも無理だと決めつけていました。そんな私を変えてくれたのが、友達存在です。クラスで1人だった私を美術部に誘ってくれて、新しく友達になってくれて、違う部活でもずっと仲良くしてくれて、皆に本当に本当に感謝しています。おかげで1年の時より明るくなったし、色々なことに挑戦するようになったし、勉強や部活動でも競い合って頑張ることができました。友達がいたから、成長できたんだと思います。この3年間で、一生の宝物をたくさん得ました。

また、今までに多くの行事がありましたが、その一つ一つの中で、大切なことを学んできました。それは、協力することの大変さ、大切さです。クラス単位になると、まとまるのはそう簡単なことではありません。

実際、いつも練習の最初は、体育大会でも合唱コンクールでもバラバラでした。しかし、いつも周りのために一生懸命動いてくれる人たちが必ずいて、段々と団結していきました。そんな光景を見ていると、協力するって大変だけど、良いものだなと思うようになりました。そして、一生懸命やるって格好良いなとも思いました。それから私も、自分でできることを全力でするようにになりました。

本当にあっという間の3年間だったけど、多くの大切なものに出会い、充実した時間にできました。入学したときの「悔いのない3年間を過ごす」という目標を、達成できたんじゃないかと思います。南中を離れてしまいますのは少し寂しいけど、今までやってきたことに自信を持ち、これからも頑張っていきたいです。

